

船橋市議会議長賞

国を支える自動車税

船橋市立坪井中学校

第一学年

松本航

みなさんは「税金」と聞いたら何を思いかべますか？例を挙げると消費税や所得税などを思いうかべる人が多いと思いますが、僕は「自動車税」に注目してみました。なぜならば、最近ガソリンスタンドの横を通った時に、「車は税金が高すぎるんだよ」とさげんでいたおじさんがいて強く印象に残っていました。

まず自動車にはたくさん税金がかかります。購入時にかかる税金は、自動車税、消費税、自動車重量税、自動車取得税などの四つの税金がかかります。次に保有時（購入後）にかかる税金です。自動車税、自動車重量税、ガソリン税などの三つの税金がかかり、購入時の税金も合わせると七つもの税金がかかることとなります。買うのにも、所有することにもたくさんのお金をつかうこととなります。

逆に言えばそれだけの大金を税金として国におさめていることになるのです。

次に自動車税の使われ方です。自動車税はおもに四つのことに使われています。

一つ目は道路のインフラ整備です。自動車税は、道路の建設や修理、舗装などの費用に充てられています。このように交通機関の安全性や交通の円滑さの向上などのために使われています。

二つ目は交通システムの維持管理です。自動車税は、信号機や標識の設置・維持、道路の清掃、路面の塗り替えなどにも使われています。

三つ目は交通安全対策です。自動車税は、交通事故の予防や交通安全対策などにも使われています。警察や交通部署への予算配分や交通安全教育の実施などにも使われています。

四つ目は環境対策です。自動車税は一部環

境対策にも使用されています。一部地域ではエコカーの普及や排出ガス規制の強化など、環境に配慮した取り組みにも使用されています。

自動車税はこのように多くのことに使われ、安全な生活のために活用されているのです。

今まで僕は自動車税なんて知らないんじゃないかと思っていましたが、調べてみると自分たちがいつも水や空気のようにあたりまえに使っていた道路や交通システムを、支えてくれていることを知り、感謝の気持ちが湧きました。

これからは、税金の高い安いだけでなく、なにに使われるかという本質的な部分に目を向けて、理解できる大人になりたいです。